# B会場（レクチャールーム）

## 一般口演 B4（中枢）

15:00 – 16:00

座長：香月 博志（熊本大・院薬・薬物活性学）
　　：栗原　崇（鹿児島大・院医歯・生体情報薬理学）

### B4-1
15:00 – 15:12

**脳内α7型ニコチン受容体刺激による排尿抑制を脳内一酸化窒素は抑制性に制御する**

○清水 孝洋[1]，清水 信貴[2]，福原 秀雄[3]，井上 啓史[3]，齊藤 源顕[1]

[1]高知大・医・薬理学，[2]高知大・医・骨盤機能センター，[3]高知大・医・泌尿器科学

### B4-2
15:12 – 15:24

**脳梗塞モデルマウスの機能障害に対するオキシトシンの有効性についての検討**

○東 洋一郎[1]，森下 祐介[2]，谷 大地[1]，東郷 美緒[1]，藤枝 幹也[1]，齊藤 源顕[1]

[1]高知大・医・薬理学，[2]高知大・医・小児思春期，[3]高知大・医・先端医療学コース

### B4-3
15:24 – 15:36

**カンナビノイド$CB_1$受容体の機能不全はオキシトシンおよびコルチコステロン分泌制御を介した自閉スペクトラム症様行動の発現に関与する**

○縄田 陽子[1]，西奥 剛[1]，山口 拓[2]

[1]長崎国際大・薬・薬理学，[2]長崎国際大・薬・薬物治療学

### B4-4
15:36 – 15:48

**マウス側坐核のEgr1ノックダウンは、グルタミン酸作動性シナプス関連遺伝子を含めた多くの遺伝子発現を変化させ、コカイン誘発性運動感作の形成を阻害する**

○中村 祐樹[1]，中村 有香里[1,2]，Jean-Antoine Girault[3]，Denis Hervé[3]，西 昭徳[1]

[1]久留米大・医・薬理学，[2]久留米大・医・小児科学，[3]Inserm・*Institut du Fer à Moulin*・Neurotransmission and Signaling

### B4-5
15:48 – 16:00

**グレリンは、Rett症候群のモデルマウスであるMecp2欠損マウスにおいて、前頭前野（PFC）のD1受容体シグナル伝達を介してドーパミン刺激応答を回復させ、認知機能障害を改善する.**

○河原 幸江[1]，大西 克典[1]，高橋 知之[2,3]，岸川 由紀[1,4]，弓削 康太郎[2,3]，河原 博[5]，山下 裕史朗[2,3]，松石 豊次郎[2,6]，西 昭徳[1]

[1]久留米大・医・薬理学，[2]久留米大・高次脳疾患研究所，[3]久留米大・医・小児科学，[4]西九州大・リハビリテーション学部，[5]鶴見大・歯・歯科麻酔学，[6]聖マリア病院小児総合研究センター・レット症候群研究センター